

栗原市防災学習センター 見学レポート

◎全体を通しての感想

約2時間の内容で、消防団員の部署による役割分担や、各役割の団員が行う職務についてのお話から始まりました。各地域により差異があるのですが、栗原では5台の救急車をやりくりして市内をカバーしていると聞いて、想像していたよりも、連携を取る裏方の職員の努力を感じました。また、山間部の多い栗原では建物や車両の火災よりも林野火災の割合が大きく、団員の経験にも地域による特色があるを聞き、非常に興味深かったです。今回担当して進行して下さいました団員の佐藤さんは、実体験を含めたお話を、時折くだけた表現を使いながら進めて下さったので、より身近なものとして学ぶことができました。その後は仙台市周辺で撮られた震災や津波の生々しい映像を視聴し、地震体験や、煙で満たされた通路を通る体験を行いました。消防署を訪れることは滅多にないので、今回は有意義な時間を過ごすことができて良かったです。

◎良かった点

震災時の記録映像は、見たことのないものも多く、とても印象に残った。地震体験機は初めて体験したが、当時は思い出すくらい揺れて、意外と怖かった。団員の実体験を聞く機会は珍しいので貴重な時間だった。

◎改善できる点

今回は、防災センターの予約は所長が行って下さいました。自分は、お昼ご飯を食べるお店を探して予約しただけなので、次回以降、こういった機会がある時は余裕を持って全体のスケジュールを考えられるようにしたい。